

令和3年5月
板橋区

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する
サステナビリティボンドの購入について

板橋区は、基金の運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「同機構」という。）が発行するサステナビリティボンド（第146回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券（以下「本債券」という。））を購入しました。

「サステナビリティボンド」とは、環境問題の解決に貢献するプロジェクト（グリーンプロジェクト）及び社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の両方を目的とした資金調達のために発行される債券のことです。同機構は、国際的な第三者評価機関である DNV GL^{※1} より「サステナビリティファイナンス」の検証及び評価に加えて、環境改善効果については厳格な国際基準を設ける CBI^{※2} からプログラム認証をアジアで初めて取得しています。

※1) DNV GL : 1864年に設立されたノルウェー・オスロに本部を置く第三者評価機関

※2) CBI : Climate Bonds Initiative 低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う「鉄道建設プロジェクト（建設勘定）」、「船舶共有建造プロジェクト（海事勘定）」の建設／建造資金または借換資金に充当され、両プロジェクトを通じて、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」、「目標14：海の豊かさを守ろう」の達成に貢献します。

板橋区は、サステナビリティボンドの購入を通じて SDGs の推進に寄与することで、経済・社会・環境の三側面の総合的な発展による「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていきます。